※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　情報Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	新編　情報Ⅰ　資料ノート　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書等を用いた座学とコンピュータやタブレット端末を用いた実習を組み合わせながら授業を行います。

情報社会において不可欠な情報活用技術を深めるとともに、問題の発見・解決に向けた情報の味方・考え方、情報と情報技術の適切な活用について学びましょう。

この授業ではニュース等から積極的に物事に興味を示すことや、主体的に問題を発見・解決していくことが求められます。クラスメイトなどと協力しながら課題に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・日常生活における様々な問題を解決するために、情報検索やデータ活用、資料作成や説明などが可能な情報活用能力を持っている。
・身近にある様々な事象を自分事と捉え、問題解決に向けた様々な考えに基づいた手法を試行錯誤することができる。
・情報を適切に活用するうえで、自らや他者が違法行為やトラブルに巻き込まれないために判断することができる知識やスキルを持っており、適切かつ効果的な活用ができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報機器の基礎的な操作方法や活用について理解している。 ・情報機器を活用することで可能になる、効果的なコミュニケーションの実現について理解し、技能を身に付けている。 ・様々な観点から問題を解決することで、情報と人との関わりについて理解している。	・ニュース等から問題事象を発見し、それはなぜ問題であるのか様々な視点から捉えることができる。 ・情報機器を用いて効果的な解決策を考え、提案することができる。	・ニュース等を積極的に読み取り、疑問や問題点を主体的に発見しようとしている。 ・問題解決に向けて、主体的に情報機器や他者と協働しながら評価・改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報で問題を解決する	○情報とは ○情報とメディアの関連と特性 ○問題解決と情報社会 ○情報モラル ○情報関連法規	a:情報やメディアの特性を踏まえ、様々な観点から問題を発見・解決する方法を身に付けている。 b:情報関連法規を理解した上で、情報と情報技術の適切な利用かつ効果的な活用と個人の果たす役割や責任について考察している。 c:情報社会の問題解決を通して、自らも望ましい情報社会に主体的に参画しようとしている。	資料 ノート 定期 考査	ワーク シート 定期 考査	行動の 観察 振り返り シート
	文章処理ソフトウェア練習	○コンピュータの基本操作 ○文章処理ソフトウェアの本操作と実習 ○ディレクトリやファイルの操作	a:文章処理ソフトウェアの機能を理解し、目的に応じた操作方法を身に付けている。 b:目的や状況に応じて、文章処理ソフトウェアを適切かつ効果的に活用する方法について考えている。 c:目的に応じて、より広く深い学びに取り組もうとしている。	実技 課題 実技 試験	実技 課題 実技 試験	行動の 観察 振り返り シート
	プレゼンテーションソフトウェア練習	○プレゼンテーションソフトウェアの基本操作と実習 ○プレゼンテーション技術	a:プレゼンテーションソフトウェアの機能を理解し、目的に応じた操作方法を身に付けている。 b:目的や状況に応じて、プレゼンテーションソフトウェアを適切かつ効果的に活用する方法について考えている。 c:目的に応じて、より広く深い学びに取り組もうとしている。	実技 課題 実技 試験	実技 課題 実技 試験	行動の 観察 振り返り シート
	情報を伝える①	○情報デザイン ○情報コミュニケーション	a:情報デザインの考え方や方法について考えられている。 b:目的や受け手の状況に応じた情報デザインの考え方や方法を用いて表現できる。 c:コミュニケーション目的や伝える情報を明確にしようと試行錯誤している。	資料 ノート 定期 考査	ワーク シート 定期 考査	行動の 観察 振り返り シート

※令和４年度以降入学生用

2	表計算ソフトウェア練習	○表計算ソフトウェアの基本操作 ○関数や数式の操作	a:データを問題の発見・解決に活用するために必要な表計算ソフトウェアの基本的な操作方法を身に付けている。 b:データの操作に必要な式や関数を判断することができる。 c:問題の発見や解決にデータを活用するために、適切な式や関数操作について粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	実技課題 実技試験	実技課題 実技試験	行動の観察 振り返りシート
	データを活用する①	○データ活用とデータベース ○ネットワークとインターネット	a:データを問題の発見・解決に活用するために、データを収集、整理、分析する一連のデータ処理の流れ及び、データの特徴を表す指標と、その評価について理解している。 b:必要なデータの収集について、選択、収集し、それに応じて適切なデータの整理や変換の方法を判断することができる。 c:問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。	資料ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	行動の観察 振り返りシート
	情報を伝える②	○さまざまなデジタル表現	a:メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している。 b:メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、コミュニケーションの目的に応じた適切な情報デザインを考えている。 c:よりよいコミュニケーションを行うために自らの取り組みを振り返り評価し改善することを通じて情報社会に主体的に参画しようとしている。	資料ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	行動の観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3	データを活用する②	○情報セキュリティ	a:情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 b:情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考え、情報セキュリティを確保する方法についても考えられている。 c:情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用しようとしている。	資料 ノート 定期 考査	ワーク シート 定期 考査	行動の 観察 振り返り シート
	コンピュータを活用する	○コンピュータとは何か ○アルゴリズム ○プログラミング ○モデル化とシミュレーション	a:コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している。 b:コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。 c:問題解決にコンピュータを積極的に活用し、自ら結果を振り返って改善しようとしている。	資料 ノート 定期 考査	ワーク シート 定期 考査	行動の 観察 振り返り シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度